

令和4年度 第1回 浦臼町総合教育会議会議録

招集期日	令和4年12月6日	場所	行政センター 委員会室
開閉の時間	午前10時15分 開会 ・ 午前11時48分 閉会		
委員の出席状況	出席委員	平松職務代理、島委員、大石委員、美濃委員	
	欠席委員		
町長の出席状況	川畑町長		
教育長の出席状況	河本教育長		
職員の出席状況	石原副町長、横井事務局長、小田事務局主幹、熊谷学務係長、西川学務係主査、加藤社会教育係主査		
横井事務局長	<p>ただいまから令和4年度第1回浦臼町総合教育会議を開催いたします。開会に先立ちまして、川畑町長よりご挨拶をお願いいたします。</p>		
川畑町長	<p>皆様ご苦勞様です。熱心な協議が続いたということで、時間も遅くなったということですので、これからの教育会議の中で存分に協議いただきたいと思います。</p> <p>さて、こういうご挨拶をすると、まずコロナの話からというのが最近の恒例になっていますけれど、浦臼町の第7波は少し遅れて始まったように思います。他の市町村では10月ぐらいの段階から徐々に出てきていたところですが、浦臼町につきましては11月に入った途端に、まずはこども園の方でクラスターが発生いたしまして、園児の半分以上が罹患するという、かなり大がかりなクラスターが発生したところがございます。</p> <p>その後も、父兄の方ですとか、兄弟の方、さらには一般町民の方にも広がりまして、ただ、9月下旬まで全数把握ということで、市町村の方にも人数ですとか、男女の報告の情報が来ていたんですけど、それらも一切来なくなりまして、全く把握仕切れていないというのが現状でございます。ただ、子供たちだけについては、報告もありますので把握はできているんですけど、昨日は少なかったようなんですけれど、本当に上下動が激しいなかでまだ続いている状況になります。今後どのようにしていくのかは想像もつかないところなんですけれど、一刻も早くこの波が収まってくれることを願うところでございます。</p> <p>最近、特に新聞・テレビを賑わせているのは、1つはワールドカップでした。今日は大変残念な結果に終わりましたが、もう1つは静岡県のさくら保育園というところで起きた事件、本当に信じ難い内容のことが、かなり以前から行われていたということで、それも数ヶ月、3ヶ月ほど経った時点で公になるということも発覚している状況でして、つい最近はその3名の保育士の方が逮捕に至ったというような情報が流れています。</p> <p>本当になぜ、起こった内容もそうですし、それを3ヶ月間も隠していたというほうが、行政に携わる者としては信じ難い面がございます。当然あってはいけないことですし、地元でもあんなことは起きてはいけないことでもありますので、教育委員の皆さんはじめ、そういうことが絶対起きないように、監視というか、常識的な目線で今</p>		

	<p>後とも保育所、学校等に目を配っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>それでは長くなりましたが、議題の方、その他を含めまして5点用意させていただきました。いずれも大きな問題になっていくかと思しますので、皆様方から十分なご審議、ご意見をいただきまして、会議を進めさせていただきたいと思しますので、どうぞよろしくお願いいたします。</p>
横井事務局長	<p>ありがとうございます。続きまして教育長よりご挨拶いただきたいと思しますので、よろしくお願いいたします。</p>
河本教育長	<p>皆様、お疲れ様でございます。一昨年、昨年に続きまして学校教育・社会教育ともに感染対策を講じながらの活動が続いている状況となっております。小中学校におきましては、コロナ陽性者や、陽性者の同居家族等の出席停止措置の対象児童生徒が発生しているような状況でございますけれども、なんとか学校閉鎖等は免れておりまして、令和2年度以降に整備いただいた一人一台端末や光回線網、これらを活用して出席停止中の児童生徒がオンラインで授業に参加出来たり、学びの保障が確保できていますことに感謝を申し上げるところでございます。</p> <p>本日の議題につきましては、教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書について、部活動の地域移行について、複式学級と小中一貫教育について、今後の教育施策について等となっております。教育委員の皆様につきましては、町長と忌憚のない意見交換を交わしていただきますようお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。</p>
横井事務局長	<p>では、引き続き議事に入っていきたいと思いますが、ここからの進行は町長にお願いしたいと思っております。よろしくお願いいたします。</p>
川畑町長	<p>それでは順次進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。（1）浦臼町教育委員会の事務の点検及び点検評価結果報告書についての説明をよろしくお願いいたします。</p>
河本教育長	<p>それでは私の方から説明させていただきます。資料1をご覧くださいと思います。（2）浦臼町教育委員会の事務の点検及び評価結果報告書につきましては、令和3年度の点検評価にあたり、地教行法第26条第2項の規定により、学識経験者の知見の活用を図ることとされておりまして、8月24日に懇談会を行っています。</p> <p>学識経験者の皆様からいただいたご意見につきましては、裏面2ページの（1）～（5）までとなっております、ご一読いただきたいと思いますが、（3）につきましては、高等学校通学費等助成事業に加えてのさらなる助成を求めるとなっており、実施の場合につきましては、新たな予算措置が必要になるのかなと思っております。よろしくお願いいたします。説明については以上です。</p>
川畑町長	<p>事前にもらって読んできたんですけども、ちょうどバスのところなんだけど、高校生の通学以外の部分、小中学生に対するもの？</p>
河本教育長	<p>高校生に対して月上限1万円で助成事業をやっていますよという説明をさせていただいたんですけど、さらなる助成を、というようなイメージで発言された方がいました。</p>

川畑町長	<p>高校生に対する支援の充実をという意味でよろしいですね。</p> <p>確かに中央バスから美自校さんの独自の運行と、町の運行ということで、2種類になったわけですが、砂川周り、奈井江周りはJRと併用して使っている方もいますので、全てということにはならないかと思えますけれど、金額的な増額をという意味合いで受け取ってよろしいですね。中身につきましては検討させていただきます。</p> <p>(4)の全員に一度は受験というのは、これまで何年か経過しているんですけれど、受けたい子、受けたくない子と言いますか、個人差があって、一律全員ってというのは難しいんだと説明としては今まで聞いてきたんですけど、それはそれとしてということで、強制というか。</p>
河本教育長	<p>委員さんは全員がやる方がいいんじゃないかという意見です。ただ、実際はなかなか難しいところもありまして、コロナになってから一時中断した時期もありましたし、そもそも中学校でもしやっただけなら予算をつけますよ、とって始めた事業だと聞いているんですけれど、先生の異動とかがあって協力しづらいというような場面も、去年あたりも出てきたりもしているんで、それに対して全員、というのもさらにハードルが高くなるのかなと。</p> <p>ただ、うちの場合はその検定も、通常、土日とかやってるんですけれど、うちは平日検定がある日を選んでやっていますので、教職員の負担にはそれほどなっていないのかなと思います。土日にやれというようなことはしてませんので。</p>
川畑町長	<p>可能ならそれに超したことはないでしょうけれど、ハードルもあるという状況なんですね。</p> <p>最後の(5)については時期的なものというのは動かすことは可能なんですか。</p>
河本教育長	<p>8月に会議開催しているんですけれども、それが我々行政に携わるものとしては全然遅くないですよ。通常、3月に会計が終わって、5月まで出納閉鎖期間があって、それを終えて事務報告が出来て、議会で決算や事務報告を提案するのは9月ですよ。我々の感覚からすると全然遅くないんですけれど、民間の方に言わせると遅いんじゃないのと、年度替わっているのに。</p>
川畑町長	<p>とりあえずこういう事情というか、理解していただいて。</p> <p>委員さんの方からは特にご意見いただいてもよろしいですかね。この5点につきまして、ご意見がありましたらよろしくお願いします。</p>
大石委員	<p>バスのことで言うと、負担金とか助成金とかあると思うんですけれど、前の時より若干乗り継ぎが悪くなったかなという感覚がちょっとあります。</p> <p>奈井江からみんなJRを利用して、バスに乗るには若干待つ時間があったり。帰りの便がどうしても砂川まで行ってしまいうから、ちょうど良い時間のバスがない。仕方ないんですけれど、バスに乗るまでの時間が長くなったのかな、子ども達にとっては不便になったのかなという感覚があります。</p>

川畑町長	<p>10月に始めまして、2ヵ月少し経ったところですが、個人個人で使い方も違ってきますので、こうしてほしいとか、1便を増やせないとか、様々な意見をお伺いしているところなんですけれど、どうしても全体の中でダイヤを決めているところもありまして、陸運局に登録制ですので、簡単に明日からということは出来かねないですが、今のような意見を取り入れて、何分かでもということなのかもしれませんけれど、改善していきたいと思います。</p> <p>他にございませんか、よろしいですか。</p> <p>それでは（２）です。部活動の地域移行についての説明をお願いします。</p>
河本教育長	<p>それでは説明させていただきます。</p> <p>スポーツ庁と文化庁に対して、各検討協議会から提出のありました提言を受けまして、国は令和5年から7年度の3年間を改革の集中期間と位置づけ、部活動を段階的に地域へ移行する方針を示しており、道教委につきましても、部活動の地域移行に向けた推進計画を年度内に策定するとしており、これは北海道における部活動改革の方向性を示すもので、複数の自治体で受け皿を整備する際の調整など、市町村の支援策を盛り込むとしています。</p> <p>国の概算要求の結果や道の支援策を見極める必要もあり、令和5年度については、検討の年となることも考えられますが、今ある情報の中で意見交換をしたいと考えております。</p> <p>先月、スポーツ庁と文化庁は学校部活動より新たな地域クラブ活動のあり方等に関する総合的なガイドライン案を公表しました。また、道の推進計画につきましても、現在、パブリックコメント募集中でございますが、資料としてお配りしております。</p> <p>教育局は、スポーツ庁が概算要求で示している令和5年度の補助事業につきまして、現在9自治体が申請中とのことですが、全ての自治体で申請を検討願いたいとしております。</p> <p>地域行のためには、指導者等の受け皿の確保、費用負担等、様々な課題がありますけれども、浦臼中学校の現状といたしましては、運動部活動は卓球部のみ、現在1年生が4名、2年生が7名、それから女子バレー部、これが休部中ございます。文化系につきましては文化部があるのみということで、2年生が現在1人となっております。</p> <p>文化部につきましては休日の活動をしておりません。今後についても、卓球部のみという現状を前提としますと、部活動を指導している教員の兼職兼業が現実的なのかなと感じるところすけれども、まだ中身がはっきりしたものが出てきてないという状況下にありますので、今後、子ども達のいろいろな部活動に関わる機会もなんとかしたいと思っておりますし、模索も含めて検討していく必要があるのかなと考えています。説明については以上です。</p>

川畑町長	<p>令和5年度から土日とりあえずなのか。</p> <p>中学校の現状としては、土曜日はやってない。</p>
河本教育長	<p>令和5年度から7年度、3年間を集中期間として、とりあえず土日を地域移行しましょう、その後についてはできるところから平日も地域移行しましょうということになっています。</p>

	<p>土曜日はやっていますけど日曜日はやっていないです。部活動の指針というのが国も道も町も出しているんですけども、休日は1日休みなさい、平日も1日休みなさいということなので、土日両方だと大会に出てはいけませんし、そういう大会を設定してもいけない。ただ、そういう大会があって、ある町の教育長からどうなっているんだというお叱りがあったりした。</p>
川畑町長	<p>最後の方で言った、現在の指導教諭の方をお願いしていくのが現実的だというけれど、土日の扱いはどうなっていく。</p>
河本教育長	<p>そこはちょっとわかりません。今現在は学校部活動の顧問については、若干の手当が出ていると思うんですけども、今度地域移行になった場合は、そういう手当が出なくて、その人に対する報酬を支払うということになると、またの費用負担の話が出てくるんですけども、通常であれば地域移行した場合はその報酬というのは保護者が負担することになりますよね。ただ、それを保護者に負担させるのではなくて、自治体も補助するような構造にしましょう、という流れになると思います。</p> <p>兼職兼業というのが今の計画をみると、教職員は地域部活動でスポーツと文化活動を指導したいとき、兼職兼業ができるというようなイメージになっていますので、まだ明確にわからないというか。逆にそれを指導するためには指導者としてのライセンスが必要なのではないかと、当分は指導できる人、教員だとかのリストアップとか、不明確なものがあります。</p> <p>ちょっとご説明しましたけれど、今、概算要求でスポーツ庁が要望しているもので、調査研究するものに対する補助事業がありまして、手上げをして道もそれを予算確保をするということがあります。</p> <p>今年、新十津川町が講師を招いて講習会をやったりしているんですね。そのほか、保護者のアンケート調査を実施していたり、そういったものに対しての補助事業が令和5年度にある予定となっておりますので、スタートとしてはまずそれに着手することが必要だというのが私の見解です。</p>
川畑町長	<p>5・6・7の3年間で、土日の体制を変えなさいということで、指導教員に対する報酬というのが、それがこの3年間は出るということ、その後はもういきなり出なくなる。</p>
河本教育長	<p>若干の手当は出るかなと思いますね。これを所管している道教委も働き方改革の担当課がやっている。働き方改革と聞いていますけども、小学校より中学校の教員の方が時間数が多いですね。それはなぜかという、部活動に関わる時間と、試験問題をつくらなきゃいけない、小学校に比べると生徒指導が多くなっていることがあって、働き方改革の一環として、教員がいなくても出来るようにということで進めていく。ただ、我々は最初は部活動が学校教育から離れて、社会教育に移行するんだといういろんなことが明らかになる前は、勝手にそういうイメージを持っていたんですよ。でも、ふたを開けてみると、あくまでも学校教育。</p> <p>完全に社会教育に移行しなければいけないのかなと感じていたが、そうではない。</p>

平松職務代理	<p>浦臼の教育として、社会教育を充実させていけば良いのかなと思っていたので、今の発言で違うんだということを確認しました。</p> <p>いろんな種目を3年間というのか、同じ種目ばかりではなくて、講師の方によると思いますけれど、広く浅くいろんなことを経験させたいというような趣旨だと感じていて、社会教育を充実していかなければいけないのかなと思いながら読んでいたんですけども。そういうことではない。</p>
川畑町長	<p>色々見ていると怪我とか、責任問題というのが言われてたりするんだけど、土日は基本的には先生は関わらない？</p>
河本教育長	<p>先ほど会議の前段でお話ししたんですけど、保険の問題は日本スポーツ振興センターというところに入っていて、学校管理下で怪我などをすると、振興センターの災害共済給付というのが受けられるんですけども、ただ指導者が教職員ではないことになると、スポーツ安全保険としても学校管理下とそうじゃない場合で給付の内容がかなり違うらしいです。スポーツ安全保険の給付の内容で見るのか、学校管理下で起きた時と同じくらい充実させていくのか、という必要性もある程度議論されているようです。</p>
川畑町長	<p>その位置付けというのが社会教育事業ではなくて、学校教育の中だというけど、それ以外の部分もどんどん離れていっているようにしか見えない。</p> <p>3年あると思ってというか答えが早めに出せば良いのか。他の町を見ていると上砂川町が広域で検討というような話があって、この話初めて聞いた時の内容を話したら、検討してきましょう、みたいな話をされていた方もいたんだけど、現状は。</p>
河本教育長	<p>奈井江町に卓球部があれば指導者を一緒に探すとか出来ますけれど、奈井江町に卓球部はないですね。昔、奈井江町とバレーをやっていたのが解消されて、おそらく奈井江町と上砂川町がバレーを一緒にやっているんじゃないかと思います。</p>
川畑町長	<p>女子バレー部は奈井江町と一緒にやっていたことがあった。</p>
河本教育長	<p>浦臼町と奈井江町が共同でやっていたんですけど、うちの子ども達がそんなに本気でやりたくないとなって解消されたみたいです。</p>
川畑町長	<p>その時の足の確保は。</p>
横井事務局長	<p>個人です。奈井江町の学校に送って部活が終わるのを待って帰って来る。</p> <p>他の子を乗せたりもしましたけど、今後、広域・連携という話になってくると、移動の話がどうしても出てくるので、このガイドラインにも移動の手当とかも全部しなきゃならないということが言われている。うちから奈井江町にバレー部が行きますようになった時に、そのときは大きいバスを借りていくのか、それとも個人個人で行くのか、その分の燃料代等は手当しなければならないのか、というのがガイドラインに書いてあって、そうなってくると簡単に広域といっても、それが学校の部活だと言われてしまうと、今やっているサッカーのクラブチームとかも、全部部活だと言い替えることができる。</p> <p>そうすると果てしなく町の予算も見なければならないというところが出てくる。ここが部活になるかどうかというのが、今まではっきりはしませんが、外部講師でも良いといって、さらに大会も中学校単位じゃなくてもいいという考え方に変わってくるとなると、クラブチームでの参加がOKになると、部活と認められるの</p>

	で、年間かかる費用とかも補助の対象になる、というのが出てくるかなと。
川畑町長	もうクラブチームが中体連とかに出れるようになった？
横井事務局長	今のところは部活として認めていないですし、学校単位とかで中体連に届出だしている状況になっていて、クラブチームとかはないです。もうちょっと人数がいた時も、クラブチームに入っている子は中学校のサッカー部に入れないというルールがあったので、クラブチームはあくまでもクラブチームなので、浦中サッカー部に部活に入って、サッカーをやったらダメだよというルールだったので、この子は野球部に入っているだとか、この子は卓球部に入っていたりとかしている。クラブチームとは全く別物だという考え方が今はもうそれじゃ成り立たないという。
川畑町長	<p>広域でやれば今みたいに他の選択肢も出てきたり、今後クラブチームまで同じ扱いになるんだろうという気がしますがけれど、足の確保というか、距離的にも隣町だけではすまないという話だし、そうなるのかなり現実的な話ではなくなってくる。</p> <p>皆さんそれぞれ考えることがあればお聞かせいただきたい。こうあるべきだ、みたいなのもお話しいただきたいんですけども。</p>
島委員	<p>これに関しては道の方もまだ決まってないですし、市町村も動向を見るという形になっていますよね。</p> <p>今、これというのが出来ないと思うので、他市町と連携して、広域でやるとしても相手のこともありますので、注視するしかないのではないかなと思っていますけれども。どう決まっていくのか、準備するぐらいしかない。</p>
川畑町長	<p>他の町の一覧表が出ていますけれど滝川と砂川くらいですよ、準備しているのは。それこそ民間のクラブチームが何種類もあるような町じゃない限りは多少規模が大きくても問題は同じですよ。</p> <p>とりあえず3年間あると考えて、結果を出していくしかないだろう。</p>
平松職務代理	今は結構町外のスポーツクラブに通う子ども達がありますよね。そういう子達はこれから先も続けようと思うんだけど、問題になるのはそういうことを出来ない家庭だと思っていて、中学校で活動をしたいと思う子もそれはそれでいいと思っていて、そうじゃない子達も何人か出てくると思うんですよ。この地域移行という情報を早くから父兄の皆さんにお知らせすることによって、もしよそに可能であれば通うという子達があれば、精力的に通うことになるのかなと思うので、早くからより詳しい情報や具体例などをお知らせして、子ども達を含めて、わかってもらうということが大事なのかなと思います。
川畑町長	状況としては伝わっている？新聞、テレビの情報ぐらいの段階。
河本教育長	北海道がやった保護者のアンケートって全員にいつているのかな。中学校の何年の保護者と小学校の何年とか。
横井事務局長	ここのサイトにいってくださいみたいな感じ。今は紙ベースでこないの、昔は紙ベースで送られてきて、みんなチェックして振り返っているけれど、今はもうそんな時代ではないので、ここのサイトでアンケートをやっているのを見てほしいという感じだから、誰が答えているかは分からない。
河本教育長	その情報はみんなにいつている。そのうち答えてくれたのが何人だとか。

横井事務局長	<p>そういうは出てますけど、浦臼で何人答えたかとか、細かいところまでは出てこないと思います。とりあえず地域移行ということを中心に知らないってことはないと思うんですけど、言葉しか知らないとか、そういう状態なのかもしれない。</p>
平松職務代理	<p>それで、浦臼で今ダンスをやりたいという子がいて、できるだけ応援してあげたいと思っているんですけど、そういう動きがどんどん出てくると、またそれは教育の活性につながりますよね。</p>
河本教育長	<p>部活じゃなくて良いと思うんですよ。やりたい子がやりたいことができる機会が増えればいいのかなど。</p>
川畑町長	<p>文化祭とかで見たダンスの子たちはどこで習っている。</p>
河本教育長	<p>B&G で、週 1 で先生が来てくれて、それ以外の日は自分たちだけでその予習復習というか、教わったことを練習している。</p>
平松職務代理	<p>今習っている子は再来年になったら中学生になるんですね。今のダンスみたいな動きを見て、子供たちとかで盛り上がってくるとタイミング的にはすごくありがたいのかなと思います。</p>
横井事務局長	<p>社会教育事業だと今言ったように、たくさんのチャンスがあるという状況にできるんですけど、今の部活ということになると、意味合いが変わってきてまして、そのダンスを教える先生とか、水泳を教えている先生とかが、ある一定のライセンスを取りなさいとなっていますので、ダンスで言うと、ダンスの先生が決められたライセンスを取ってきたら、この先生はもう部活を教えられる先生に生まれ変わっているので、先生が私のやっているダンスは部活なんだって言い出すと部活ということになってしまう。</p> <p>個人競技になってくると、逆のパターンもあり得る。先生方がきちんと意識を持っている方だったとすると、小中学生を教えるライセンスをつくるって書いてあるので、ライセンスを取ってきました、なので土日の分は部活として言えるんだから、部活として認めてくださいって学校に言われた時に、学校はそれはダメだよと言えなくなる可能性もあるってということなんですね。その授業のバランスとかがあるのでどうかかわからないですけど、そうなったら部活なので、部活に対する補助ということがどんどん出てくるというのはあるかもしれません。</p> <p>例えば美唄のソフトテニスに習っている子もいますけど、クラブチームで講師をしている先生がそのライセンスを取ってきたら、そこにいる子たちも部活として認められるっていう状況になるので、今は休日だけと言ってますけど、それが平日まで伸びていくと完全に部活になってしまう。例えば美唄に通う交通費も補助の対象になりますよ、と変わっていく。だから個人競技は先生方の考え方ひとつで変わる場面が出てくるかもしれない。</p> <p>今の書き方だとそうなっているので、中体連が認めるかどうかというのはわからないですけど。書いているだけのことを読むとそんな感じかなと思います。</p>
川畑町長	<p>資格ってというのは、競技ごとになる、統一したものがある</p>
横井事務局長	<p>競技ごとというより、スポーツ少年団の講師も資格があるんですよ。例えば野球とかサッカーとかというよりは、スポーツ少年団という子供たちを教えるところのライセンスが昔あったんですよ。今どうなっているかはわからないですけど。</p>

	<p>僕は学生の頃、それを取りにいったりして、トランポリンを3日ぐらい練習して、スポーツ少年団の講師免状みたいなのがあって、その時にはスポーツ少年団で教えられるという。野球でも剣道でも、講師になれるというのがあったんです。</p> <p>そういうのを多分つくるのか、新しくそういうことをするのか。その人たちを中体連の中に入れることを良しとしなさい、という大会の運営のやり方を変えなさいみたいなことが書いてあるので、それで変わってくとなると、ダンスの先生も私はこういうライセンスを取ったから、部活として認めてくださいという話もなきにしもあらずかな。増えるかはわからないですけど。</p> <p>委員がさっき言ったように、100%手出しで行っていた子でその金額は厳しいなと思っていた親が、半分助成してくれるなら行かせられるかなという幅は広がるのかなと思います。</p> <p>現状ではただダンススクールというだけだから、それは個人でしょ、という話だけど、これが部活になったら、国とか町とかが補助しますよとなったら、通わせたいなっていう親が出てくるかもしれない</p>
川畑町長	<p>最低限というか、現状は卓球部と文化部しかない。町としては最低限としてはそれだけはなんとか継続しようというのも、1つの考え方なのかな。</p> <p>だけど局長のいう中体連に出られるようになったらイコール部活だというのは。</p>
横井事務局長	<p>中体連に出られるというか、今は学校が部活として認めるかどうかという話で、例えばダンスも教えられる人がいないということと、場所がないということで、中学校の方で部活としては認めません、学校長の管理職の判断で部活としてならなかったんですけど、その先生がいなくていうところなくなるんですよ。ダンススクールの先生が教えられるという免状を持ったら、教える先生がいなくて、がもう言えなくなる。こうなってくると、場所がどうなるのと、あと授業の流れと、どこまで責任取らなきゃならないのというところの学校長の判断の中の1つなくなる。</p> <p>今は、教える先生がいなくて、専門的な競技はできないよと言っていたのが、先生もいますという話になるので。だからといって、ひたすら部活が増えるかというのと、そこはやはり学校長の判断になってくるんですけど、1つのハードルはなくなっていく可能性がある。</p>
川畑町長	<p>島さんが言われたように、わからないところもあるので、子ども達の可能性というか、伸ばしてやりたいという反面、どこまで広がっていくのかということですね。</p> <p>サッカーに町外に通わせている親御さんと話したことがあるんですけど、お金の問題じゃない、足の問題。クラブチームに行くのに子ども達を、他の競技を含めて回ってくれるような車は出せませんか、というような話を何年前に出たことがありますけど、活動費の面と交通の環境。</p> <p>娘さんがいた頃は、まだ親が、という意識も強かった時代かなとは思いますが、今はその考えになってくれない方が多いのかなという気はします。</p>
	<p>継続的に検討いただくことにはなるんですけど、最優先は子供たちのため、というのが大前提にはなるかと思えます。当然経費の面もあると思えますので、今後検討を続けさせてください。よろしくお願ひします。</p> <p>それでは(3)複式学級と小中一貫教育についての説明をお願いします。</p>

河本教育長	<p>小学校1, 2年生に減の知らせはなく、令和5年度以降につきましては、複式学級解消のため、町費により教職員の雇用を決定していきまして、町長にはご理解いただき感謝を申し上げます。</p> <p>一方、小中一貫教育につきましては、平成27年に学校教育法が改正になりまして、平成28年度から義務教育学校、中学校併設型小学校より小学校併設型中学校が制度化されまして、令和3年1月の中教審の答申「令和の日本型学校教育の構築を目指して」におきましても、義務教育9年間を見据えた一体的な検討が重要としており、小中の教育制度は義務教育9年間で目指す15歳の子供の姿を共有し、子どもの発達段階に応じた指導を行っていくというものでありますけれども、道内でも導入事例が増えておりまして、令和4年7月現在、義務教育学校は18市町村19学校、小中一貫型小中学校では24市町村41中学校となっております。空知管内では歌志内市が令和3年度に義務教育学校を開設しています。また、沼田、長沼が施設分離型小中一貫校、雨竜町が令和2年度に施設一体型小中一貫校を開設しております。また、岩見沢市が令和5年度から栗沢地区と北村地区で小中一貫校を開始、砂川市におきましては令和5年度に中学校を統合し、令和8年度に小学校を統合し義務教育学校を開設します。さらに、月形町につきましては令和9年度、妹背牛町は令和10年度に義務教育学校を開校するとしております。</p> <p>中空知教育長会10月例会で情報交換事項として、義務教育学校の開設予定があげられておりますが、上砂川町では中学校が老朽化しており、町長から義務教育学校への移行の指示があったというような状況でございます。</p> <p>小中一貫校にもメリットデメリット等々がありますけれども、少子化が進むであろう教育において、将来的に義務教育学校の開設を視野に入れた検討が必要と考えていますし、教職員の加配が受けられることにより、町費による複式解消も不要となるケースも考えられます。</p> <p>ただ、本町は小学校が昭和56年に竣工、平成26年、27年に大規模改修を行っております。中学校が平成24年に竣工し、老朽化はまだ先といった状況になっています。全体的に義務教育学校への流れが少子化もあって進んでいるという状況を迎えたとき、それらも視野に入れていかなければいけないという感じです。</p> <p>ただ、うちの町は先になるの可能性があるのかなという見解です。</p>
川畑町長	<p>複式学級と小中一貫校について説明をいただきました。複式学級につきましては本当にあと1名が転校なりしてくれば解消されるという状況にはあるんですけど、見てのとおり4年間は複式学級、ただ、1学年下の子も10人ということで、3年生との差は1人ということで、本当に1名転校しただけで複式になる危険性がある中で今後とも学校運営をしていかなければならない状況にあります。</p> <p>とりあえず見えているのは、これからの4年間ということですので、なんとかそれは回避していきたいと考えているところですし、教育委員会とも話をさせていただきました。先生の確保のあたりはどのような感じ。</p>
河本教育長	<p>町費の職員については小学校の校長に話をし、候補を募っています。</p>
川畑町長	<p>ギリギリで決まるのもちょっと怖い話だけど、タイミング的には近々というか、早めに決まるのだろうか。</p>

河本教育長	<p>基本的に人事協議はもう終わっていますので、そこには配置されないですから、もし配置されたとしてもその人には期限付で道費に変わるという可能性があります。</p> <p>義務教育学校の話をしてもらいましたが、義務教育学校にすると、職員の加配が受けられるんですね。妹背牛町もそうなんですけども、将来の少子化で複式を避けて、なおかつ町費で負担しないためにというような観点から義務教育学校の設置を進めています。</p> <p>義務教育学校には、校長が1人いて、その下に教頭プラス3人おける。副校長1人に教頭2人とか、教頭2人に主幹教諭1人とかつけられるんですけども、ただ、浦臼の学校は教頭2人で良い、もう1人主幹教諭で良いとなったら、その人に担任を任せれば複式学級を回避できます。そういうことが可能です。</p>
川畑町長	義務教育学校は管内では歌志内市が始まっている？
河本教育長	砂川市が令和8年度から。大きいところでは当別町が今年義務教育学校を開校したんですね。
川畑町長	当然校舎はひとつ。それくらいのキャパシティがある。建て替えたのかな。ものすごく大きい建物になったと思うけれど。砂川市もどこかで複式になっていなかった。
河本教育長	大規模な市町村こそ難しいなと思うんですけど、砂川市はすごいなと思いますね。複式あります。複式を1度回避したんですけども、元に戻したそうです。砂川市は必ずしも複式は悪くないという考えで、保護者が複式が嫌だと言わないそうです。
平松職務代理	転入生が来た場合は解消されるのか。年度途中で子どもが1人転校してきて8人になったりしたら。
西川主査	年度途中で反映されるのは来年度からということになると思います。
横井事務局長	基準日があって、この時にこの人数だったら複式だと。
川畑町長	教職員の協議も、複式前提で話が終わってる。
河本教育長	町費で1人雇うという確定になっている。
川畑町長	たった1人なんですけど、心理的な面も含めて大きな影響があると思いますけど、とりあえずは回避していきたいと考えています。ただ、保護者の方々がどう捉えているのか、複式も決して悪くないというのが、砂川市は役所の考え方だけではなくて、保護者の方もこういう考え方だったということなのか。勝手にはやらないとは思いますがどうなんだろう。
河本教育長	<p>今、働き方改革といっている時代に2学年もつんです複式の先生は。例えば道北とかオホーツクは複式があるところなんです。ただ、空知管内は人数少なくなったら統合してしまう。複式が少ないエリアで、複式を経験している教員も少ないんだと思います。2学年同時で教えるわけですし、教室も一部改修して後と前に黒板があって、こっち向いたりあっち向いたりする中で指導していく。</p> <p>その経験をしている教員が少なくなっている。</p>
川畑町長	追加で採用する先生というのは、2年生なら2年生の担任になるっていうこと。

河本教育長	今考えているのは、道費の職員に担任をもたせて、町費の先生は特別支援の担任を予定。それは校内人事で校長の権限なので。
川畑町長	複式については子供が生まれた時期というか、年度範囲で人数が把握できるわけで、1人転校していった子がいてこうなったという。1人の存在が本当に大きい。とりあえずこのまま回避してく方向で調整していきたいと思います。これにご意見、美濃さんお願いします。
美濃委員	浦臼町の場合はまだ人数が2学年合わさると多いので、集団でなにかをやるということに砂川市の方達はメリットと感じたのかな。今のところは町が人を見ていただけるのであれば、たくさん目の子ども達も見てあげられるのかなと思います。
川畑町長	小中一貫教育と義務教育学校というのは、現実的に建て替えたばかりとか。10年くらい経つのかな。
河本教育長	<p>月形町の義務教育学校の記事が出てましたけれど、築50年経っているので立て替えることにした。50年といううちの小学校を考えた場合に、2031年、それぐらいの時期に月形町は建て替えるというような基本方針を示していて、まだ先だとしても、今のどこの場所に義務教育学校を、というような、ある程度土地利用みたいなものを考えておかなければ、そのときに土地の広さが足りないということになりかねないのかな。</p> <p>中学校のところに義務教育学校をつくる、あるいは小学校の方に義務教育学校を設置するのかと考えたときに、場所は本当は浸水地域になるんですけど、隣にこども園も出来たということで、小学校の方になるのかなと思ったりもしますけれど、中学校は何に活用したらいいんだという。建て替えではなくて増築ということであれば小学校に普通教室をつければ、とりあえず3学年入れればなんとかなりますし、パソコン教室を第二職員室みたいな感じで、今1人1台端末なので、その部屋を使う必要性がなくなってきていますので、そういう利用の面もあるのかなと思いますけど、月形町の例を見ると、やっぱり建て替えを検討しているところもありますし、前段の協議会で池田町が施設分離型の義務教育学校を新設する。中学校、ちようどうちと小中学校ぐらい離れていて、中学校に今小学校5、6年生を持っている。</p> <p>結局、義務教育学校というのは学年の区切り、それを自由に区切ることができて、6・3制というのは昭和20年代にできたらしいです。ただ、今現在子どもの成長というのは2年ぐらい早まって、小学校の5、6年生が思春期の世代に入るとような状況になってきて、今6・3制ですけど、義務教育学校で一番多いのは4・3・2、今の小学校4年生で区切って、今の小学校5、6年は中学校1年生と同じようなくりにしているんですね。</p> <p>そのことによって教科担任制、小学校5・6年生に相当する子を中学校の教員が教える。専門性が高いので、学力の向上に繋がったり、たとえば今小学校は授業時間45分、中学校は50分ですけども、小学校5年生から50分にするとか、5年生から定期考査、中間期末の試験を導入するとか。運動会は色々なやり方があるので、今まで通りにとか、両方やるとか、いろんなことができる。</p>
平松職務代理	そもそも小中一貫校とはどういう違いがあるんですか。あくまでも小中一貫校では6・3は動かない。

	<p>浦臼がこれから先、進めようとしたら義務教育学校なのかなとさっき聞いて思ったんだけど、小中一貫教育を選ぶとどういうことを想定していかなきゃならないのかな。</p>
川畑町長	<p>雨竜は小中一貫。一貫の方は建物が一つというぐらいしか。</p>
河本教育長	<p>分離型というのもある、長沼町とか。 ただ、教育課程を編成する会議で事前に先生が大変そうなんです。何回も会議をして、統一したものに作り直すので。しかも人事異動もあるわけですよ、常に。熱心な先生とそうじゃない先生が次々替わっていく可能性があります。</p>
川畑町長	<p>どちらかと言ったら小中一貫の方に進んでいくのかな。 多分、全く関係ない話ではないと思っているので、10年という単位なのか。</p>
河本教育長	<p>今の流れは義務教育学校です。 それこそ、将来のために小学校に隣接するJR敷地だとか、どうなるかわからないけれど、確保してほしいなと漠然と思っています。</p>
川畑町長	<p>継続して検討していきます。 それでは(4)今後の教育施策についてということで、学校教育関係からお願いします。</p>
熊谷係長	<p>資料4をご覧ください。令和5年度学務係でございます。 町独自加配教職員の配置について、平成28年から実施しており今年度7年目となります。現在の体制としましては、補助教員としましてフルタイム2名、特別支援補助員1名の3名を小学校に配置しており、令和5年度も引き続き配置したいと考えてございます。また、令和5年度から令和8年度の間、複式学級編成を回避するために、新たに町費で教職員を1名配置したいと考えてございます。 事務補の配置についてです。現在、近隣市町で事務補の配置がないのは、浦臼町のみとなっております。教頭の業務補助を基本に、教職員の事務的な補助を担っていただくもので、小中学校に各1名配置することにより、教職員の働き方改革の推進になると考えてございます。 教職員の家賃補助について、令和3年度から実施しており、現在町内民間住宅に管理職が4名入居しておりますが、管理職だけではなく、一般教職員等についても家賃補助があることにより、浦臼町に住んでもらえる可能性が高くなると考えられますことから、引き続き補助を行っていきたいと考えてございます。 ICT教育支援の推進について、デジタル教科書の継続導入ですが、今年度は文科省のデジタル教科書実証事業により、小学校では英語、中学校では数学と英語が導入され、さらに小学校では国語と算数のデジタル教科書を導入中であります。継続的なデジタル教科書の導入と、他の教科書への拡充を図りたいと考えております。 小中学校へのドリル学習ソフトの継続導入ですが、小学校は令和3年度から、中学校は今年度からデジタルドリルソフトを導入し、授業や朝自習等で活用しており、令和5年度も継続的に導入したいと考えてございます。 小学校1、2年生のタブレット端末整備ですが、1・2年生がタブレットを共有して授業を実施しており、ICT教育の推進、遠隔授業を取り進めるためにも、小学校1、2年生のタブレット端末の整備が不可欠となっております。</p>

	<p>学びの保障のための家庭の通信環境整備について、現在光回線のない家庭7世帯8名に対し、モバイルルーターの貸し出しを行っておりますが、令和5年3月で通信契約期間が満了となるため、新たな通信環境整備の確保が必要となります。学びの保障のため、通信費は保護者負担となりますが、令和5年度も引き続き、ルーターの貸与を行いたいと考えてございます。また、就学援助においてオンライン学習通信費、年間14,000円を支給費目として追加し、通信環境の整備の一助としたいと考えてございます。</p> <p>各学校の教室へのエアコン設置についてでございます。気候変動により、30度を超える日が多くなり、窓の開放や換気扇などでは室温が下がらず、児童生徒の集中力の低下が危惧されることから、学習環境、労働環境の整備のため、各学校の教室への設置を要望するものでございます。学務係からは以上でございます。</p>
川畑町長	それでは、引き続き社会教育係。
小田主幹	<p>引き続きまして、私の方から社会教育係の教育施策についてご説明させていただきます。</p> <p>子供たちの体力向上教室の継続的取組についてでございます。児童の体力、運動能力、運動習慣等の低下を背景に、令和3年度から新規の事業としてスタートさせております。子供たちの体力向上教室について、参加資格を2年生以上からとしまして、途中からの参加も含めて、総勢21名で実施をしているところでございます。</p> <p>令和4年度からは令和元年からスタートさせております小学校かけっこ教室を当教室に含めまして、小学校のかけっこ教室につきましては、1年以上の対象となりますので1回だけ1年生も参加することができる回があります。同一講師の指導のもと、器械体操やボール運動、かけっこ運動など子供たちの運動能力、基礎体力の向上に向けた取組を6月から10月まで長期的に事業として取組を行っているところでございます。本事業につきましては、継続的に実施をしていくことで、児童の成長とともに、体力等の成長過程を期待するものと考えてございます。</p> <p>各種社会教育事業の見直しについてでございます。令和4年度の各種社会教育事業参加者の減少が見られることから、開催の回数とか時期や時間、参集範囲などそれぞれの事業につきまして、これまでの事業の実績等を踏まえて、協議検討を行い、魅力ある事業の開催に向けて今後の見直しを行っていきたいと考えてございます。</p> <p>続きまして高齢者大学みどり学園の開園50周年記念の事業についてでございます。当学園につきましては、昭和49年の開園から令和5年度で50周年という節目の年を迎えることとなります。</p> <p>50周年を迎えるにあたりまして、記念式典の開催をしたいと考えてございます。コロナ禍の影響もありまして40周年等では懇親会等を行ってございましたけれども、飲食等の懇親会は行いませんけれども、記念品等の配布の方を行いたいと考えてございます。</p> <p>続きまして、社会教育等の施設整備についてでございます。農村センターは昭和55年、海洋センターは平成4年の施設の維持、管理及び運営につきまして、経年に伴う大規模、小規模的な補修や改修につきましては、これまでも行ってございますけれども、今後におきましても、緊急性の高い施工箇所が控えている施設でございます。</p>

	<p>施工につきましては、非常に多額な費用も見込まれておりますので、計画性を持って各関係所管課と協議検討を進めていきたいと考えてございます。</p> <p>さらに、ふるさと運動公園野球場の使用実情等に関しましては、令和4年度につきましては、これまでご使用いただいている団体に加えまして、北海道ベースボールリーグのチームが練習や公式試合で使用いただいていることから、使用頻度が増加しておりますので、今後においても適切な維持管理が必要となっております。</p> <p>社会教育係からの説明は以上でございます。</p>
川畑町長	<p>学務係、社会教育係の今後の施策について説明がありました。これは委員さんの皆さんは初めて聞く話ではないということですか。</p> <p>事務補の配置というのは道費か何かで対応できていたが。</p>
河本教育長	<p>配置をお願いしたいということでしたけれども、一昨年から道費でスクールサポートスタッフとか学習指導員という職員が配置になった。来年度もおそらく道費の職員がつくだろうと思います。ただ、万が一一つなかった場合には事務補の配置をお願いしたいと思います。</p>
川畑町長	<p>デジタル教科書、学科によって導入しているという感じ。全5教科ではなくて。それは段階的に、いずれは全部デジタルにと。</p> <p>中学校は英語は導入されているけれど、感想というか実績は。</p>
西川主査	<p>小学校の方は全教科希望されているんですけども、活用状況によってだんだん増やしていこうという話。今年から国語と算数の方を追加で導入させてもらった。</p> <p>英語の方は実際の外国の方の発音の音声を聞くために、よく活用されているようです。数学の方は把握できておりません。</p>
川畑町長	<p>すぐには効果が見えづらいのかもしれないけれど。英語はリスニングとスピーキングで実際に聞けるのは悪いことではない。</p>
河本教育長	<p>管内で色々なデジタル教科書を試験的に導入した学校では、英語のデジタル教科書は非常に評判が良い。ネイティブな発音、音声が聞こえる。</p>
西川主査	<p>見た目は本の教科書と一緒にです。例えば、教科書に書いてあったとしたら、パソコンでそこをクリックすると、ネイティブな音声が聞こえる。</p> <p>全文英語の文章があったら、ネイティブな人の発音で文章を聞いてみましょうと、リスニングの時間が取れる感じです。</p>
川畑町長	<p>コロナの前は授業を見させてもらったことはなかったか。これがデジタル教科書だって。</p>
河本教育長	<p>あのとき校長がデジタル教科書ですと言ったような気がします。画面に映っていたのが。活用の仕方としては原始的というか、今の話の内容でなかった。</p>
川畑町長	<p>学校の許可がいるのかもしれないけど、1回見る機会があれば。</p> <p>みどり学園の50周年式典の時期的にはどのくらいを予定。</p>
小田主幹	<p>秋ぐらいというところです。40周年とか30周年とかも秋頃になっています。</p>
川畑町長	<p>コロナもどうなっているかわからないけれど。</p> <p>社会教育事業、最近、立て続けに料理とか色々な行事があって、結果的に人が集まらなくて取りやめになったりしている。</p>

小田主幹	人数が集まっていないというところが。周知等に問題があるかもわかりませんが、参加してくださる方々に少しお話を聞いたりしながらではあるんですけど、開催時期をずらしたらいいんじゃない、というお話もいただいたりしながら、そういった意見を今後取り入れてきたいです。
川畑町長	どうしても農家の方が多いから、秋口以降が一番来やすいのかなと思ってその時期にやっていますが、そう言われてしまうのかな。
小田主幹	新たな取組を皆さんされていたりして、この時期はこれ作るんだよね、というような話もあったりしまして。
川畑町長	検討してください。 皆さんからこの件につきまして何かありますか。よろしいですか。
平松職務代理	A L Tの関係で、嬉しいことにまた1年、お休みをとりつつ継続していただけるということでありがたいことです。私たちも感謝しているところでありまして、気持ちとしては色々重なっている状況なので、気持ちよく勤めていただくためになんとか多少なりとも増額していただけないものかなと思っていましたところでは。
川畑町長	1年1年伸ばしていただいているような状況なんだけど、向こうで職を見つけるということで前から話はあって、コロナのせいもあって帰らなかったというのがあったかなと思うけれど、渡航は今制限がなくなってきているので、そこはもう問題ではないのかなという気はしますけど、明確にあと1年とかはっきり言われてる状況ではないのかな。
横井事務局長	一応、本人の希望としては、オーストラリアで先生になりたいというのが今の1番の考え方で、数年前からコロナで教育実習ができなくなったので、渡航制限もあったので帰らなかったんですけど、来年教育実習ができるようになって、本当は今年度でやめたいって話だったんですけど、オーストラリアで教育実習をして、多分全部で6週から8週ぐらいだと思うので、年間の中のそれだけだったら、あともう1年いて、その教育実習の間だけオーストラリアに帰るということで、なんとかならないかという話をずっとしていた。 本当は浦臼に迷惑がかかるから帰りたいという言い方をしていたので、いなくなる方が困るという話をしたら、もう1年いたいという話をしてくれた。6週から8週の間はないですけど、なるべくこちらの長期休業の時に合わせると言ってくれたので、もう1年はいてもらえる。 それ以降は、基本的には向こうで先生やりたいという話をされたので、なかなか厳しいかなと。
河本教育長	ちょっといない期間があるので、迷惑かけるから帰るという感じだったんですけど、ただ、小学校も中学校もいない期間があっても が良い。
平松職務代理	子どもたちに、大人になっても夢を追いかけて頑張っている姿を見せるのってとてもそれはそれで良いことですよね。オーストラリアとつないで何か授業中に接点をもてたらなど。これから先、接点を持つということが子どもたちの視野を広げることに繋がるのかなと思いました。
川畑町長	どっちにしても、来年1年と思って次の動きをしなきゃいけない。

横井事務局長	<p>ALTに関してはそうなっていくと思います。とりあえず来年度はあれですけど、その次の年は、ということになってくるので、来年度中に新たなというところの手続きを開始しなきゃならないかなと思っています。</p>
川畑町長	<p>こればかりは来てみないとわからないみたいな話を聞く。</p>
横井事務局長	<p>なるべくそうならないように、どこまで日本語ができるかというところ、ちゃんと調べてみて、お願いしてと思っています。</p>
川畑町長	<p>ほかにご覧いませんか。よろしいですか。</p> <p>最後その他、ということですけど、事務局から何かありませんか。</p> <p>1時間半でしたけど、色々お話をさせていただきました。まだまだ懸案が山積みだなというのが、改めて今日お話し合いで実感したところでございます。</p> <p>これから、十分協議して詰めていかなければならない事項もたくさんありますので、今後とも積極的にご参加、ご発言いただきまして、課題解決に向けて一緒に協議させていただきたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。本日は大変ご苦労様でした。</p>
横井事務局長	<p>以上で議事が全て終了しました。次第にあります(5)その他ということで、全体を通しまして何かあればということですが、とりあえず特にないかと思いますので、このまま会を閉めさせていただきたいと思います。</p> <p>本日協議させていただいた内容を新年度予算の方に反映させていかなければならないところもありますので、今後新年度予算の査定等々では、副町長にもお世話になると思いますので、よろしく願いいたします。</p> <p>以上をもちまして、令和4年度第1回浦臼町総合教育会議を終了したいと思います。今日はありがとうございました。</p>